

令和元年度エコ事業所表彰（平成 30 年度取組結果分）
審査基準と審査委員長コメント

1 審査基準

(1) 電気使用量の削減部門

電気使用量の削減による CO2 排出量の対前年度比や実施された取組等を勘案の上、他の模範となる取組を実施した事業所を選定。

(2) 自動車燃料使用量の削減部門

自動車燃料使用量の削減による CO2 排出量の対前年度比や実施された取組等を勘案の上、他の模範となる取組を実施した事業所を選定。

(3) その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動部門

創意工夫されている、組織内で浸透している、継続性がある、地域との関わりが深い等の観点から、他の模範となる取組を実施した事業所を選定。

2 被表彰事業所

別紙「令和元年度エコ事業所表彰（平成 30 年度取組結果分）被表彰事業所一覧」のとおり。

3 審査委員

	氏名	所属等
委員長	二渡 了	北九州市立大学国際環境工学部 教授
委員	小田 浩司	一般財団法人省エネルギーセンター九州支部 事務局長
〃	辻 勝也	福岡県地球温暖化防止活動推進センター長
〃	野中 正浩	福岡県環境部環境保全課長

4 審査委員長コメント（北九州市立大学国際環境工学部 二渡 了 教授）

(1) 総評

平成 19 年度に募集を始めた「エコ事業所」については、現在約 3,500 以上の事業所にご登録いただいています。

取組結果を報告いただいている事業所の数も年々増加しており、省エネルギー・省資源等の地球温暖化防止への取組が、多くの企業に広がっていることを実感しております。

「エコ事業所」は、あらゆる業種・規模の事業所を対象としているため、各事業所の取組内容や結果を一律に評価することは困難ですが、「電気使用量の削減部門」及び「自動車燃料使用量の削減部門」については、対前年度削比を比較した上で、取組の多様性やモデル性といった観点から、優秀な取組を行っていると思われる事業所を選定しました。

また、「その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動部門」については、活動による CO2 削減効果が見られるかや、他の事業所の参考となる創意・工夫があるか、継続性があるか等を基準に審査し、優秀な活動を実践していると認められる事業所を選定しました。

事業所における地球温暖化防止の取組を継続して進めていくためには、代表者のみならず全従業員の方の理解と協力が必要不可欠です。また事業所における省エネルギー・省資源を実現することは、環境保全への貢献だけでなくコスト削減にもつながります。

今回、受賞された事業所の皆様のご努力に敬意を表しますとともに、被表彰事業所の取組を参考に、県内の事業所の省エネルギー・省資源の取組が今後益々広がることを願っております。

(2) 各部門の最優秀事業所の評価

ア 電気使用量の削減部門

事業所名	（一財）福岡県浄化槽協会 筑豊検査センター〔田川市〕
評価	ハード面（LED、人感センサー）とソフト面（24 時間換気の中止、休憩時間や就業時間外の節電）、両方の取組みを行っており、大きく電気使用量を削減していることを評価しました。

イ 自動車燃料使用量の削減部門

事業所名	モリタ企画産業（株）〔福岡市〕
評価	アイドリングストップや効率の良い運行ルート計画などの多岐にわたる取組によりガソリンと軽油の削減効果を挙げていることを評価しました。

ウ その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動部門

事業所名	西日本鉄道（株） 片江自動車営業所〔福岡市〕
評価	ハイブリッドバス導入やパークアンドライド等の推進、地域において環境をテーマにした特別授業を行うなどの多岐に渡る取組を実施していること、また事業規模が大きいこともあり CO2 排出量を大きく削減していることを評価しました。